

えん

寿東部地区
社会福祉協議会
広報誌

第5号
平成27年3月

会長就任あいさつ「個人から組織へ」

寿東部地区社会福祉協議会会長 木村 雅一



寿東部の皆様には、日頃より寿東部社会福祉協議会活動へのご支援、ご協力感謝申し上げます。私は去る10月15日に開催されました、臨時総会において会長を仰せつかりました。今まで活躍されておりました中村前会長をはじめとした逸材

がおられる中で、会の代表として指名された事に対し戸惑っていますが、皆様のご協力を得て会の発展に尽くしていきたいと思っております。

つきましては、今後の寿東部社会福祉協議会の取組について述べさせていただきます。

それは『個人から組織へ』の体制の変換です。

そのため、今までなかった会則・会員名簿・組織体制図の作成をいたしました。中身は寿東部連合町内会活動と連携した内容です。今までご協力いただいたスタッフにプラスして、新たに協力していただけるスタッフを、寿東部10ヶ町から推薦していただき構成いたしました。

また、具体例として、子育てサロン「サン・サンディ」については、より広い会場、利便性、開催日の制約をはずす事が出来る場所として、浦舟ケアプラザの多目的ホールを利用する事で、準備を進めております。

広報誌「えん」についても、新しい編集委員会のもとシンプルな広報誌に衣替えを目指しております。

以上、思いつくままに書かせていただきましたが、今後の発展はひとえに皆様のささえにかかっております。ぜひ、多くの方々の参加をお待ちしています。

サン・サンディの活動及び拠点変更

寿東部地区社会福祉協議会事務局長 内藤 稔



子育てサロン「サン・サンディ」を発足させてから、26年11月で早や一年が経過しました。寿東部主任児童委員の板橋さん、宇津木さんを中心に、スタッフ一同の協力により順調に推移して参りました。広報誌「えん」の発行及び子育てサロンの運用については、改めて寿東部の活動として、連合全体で取り組もうとの話し合いがもたれました。これは各町内会が均等に協力する事を前提とし、寿東部地区社会福祉協議会組織図の案が出来上り、概ねこれに沿った形で発足する事になりました。

「サン・サンディ」は現在、毎月第3週の日曜日に開

催しておりますが、連合の年間行事と度々重なり、その都度変更せざるを得ず、利用者にも迷惑を掛けております。スタッフからも日曜以外の希望があり、加えて備品の準備・片付けで、倉庫からの出し入れに意外と手間が掛かっております。そんな折に、浦舟ケアプラザに受け入れを打診したところ、快諾を得ましたので、来る4月からスタートする事といたしました。現在お借りしている、やすらぎ保育園は3月を最後とし、会場を変更することに致しました。今後とも、一層のサロンの利用を、よろしくお願いいたします。





新南区総合庁舎の完成予想図



日頃から、市政、区政にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、市立大学医学部跡地において、南区総合庁舎（以下、新庁舎）を整備しています。新庁舎では、点字ブロックや点字サイン、音声誘導など、誰もが分かりやすい庁舎に向けて検討を続けています。エレベーターはお客様用に3基設置し、車いすの方や親子連れの方、オストメイトの方など誰もが使えるトイレは全階に設置します。

公会堂では、舞台前面に取り外し可能な席があり、その部分の床は水平ですので、数十人の車いすの方の

入場も可能となっています。また、親子室も用意します。

新庁舎周辺では、福祉団体や地域の代表の皆さまにも参加いただき、「阪東橋駅・黄金町駅周辺地区バリアフリー基本構想」を平成27年3月に策定しました。この構想に基づき、まずは黄金町駅・阪東橋駅から新庁舎までの西側歩道のバリアフリー整備が予定されています。新庁舎だけでなく周辺の施設や道も含めて、誰もが利用しやすくなるよう、関係事業者とともに取り組んでまいります。

家庭防災自主活動

真金町二丁目町内会 木村みどり

平成26年10月23日午前中に家庭防災員、連合の会長さん、一般の方を集めポリ袋を使用して簡単に出る料理を作り試食して頂きました。

短時間で出来、皆さん初めは本当に出来るのと言って半信半疑でした。ところが出来たのです。

ご飯、おかず、味噌汁が昼食となりました。試食して頂いて、美味しいと感想をいただきました。家に帰り作ってみると皆さんの声が聞けました。

早速、永楽町内会の役員会で実行して頂きました。もっともっと皆さんにお伝えして広めていきたいと思えます。



感想

ごはんは、少し固めでしたが食べられました。もし、これが本当に災害時なら、温かいご飯が食べられる事に有り難さを感じ、固さなんて関係ないでしょうね。

災害がおきた時には、役立つと思います。

永楽町家庭防災委員 三澤 知恵子

隔年で開催される、寿東部連合町内会納涼盆踊り大会が、平成26年8月1日(金)・2日(土)の両日にわたり南吉田小学校で行われ、今回で10回目になった。

この日の為に、7月29日(火)・30日(水)の2日間、望月先生のご指導のもと、踊りの練習を行い本番に臨んだ。

当日は800名程の参加者で盛大に執り行われた。全10曲のうち定番の「炭坑節」・「南区音頭」、そして

「きよしのズンドコ節」に加え、「パハマ・ママ」は盆踊りとは思えないような軽快な曲で、子どもも大人も乗りに乗って踊っていた。

また、各町内会では趣向を凝らした模擬店も出店し、盆踊りだけではなく、食べて遊んで——と楽しみが沢山詰まった盆踊り大会になった。

盆踊りと模擬店で楽しさ2倍

写真提供—タウンニュース社

浦舟西
いなりずし (2日のみ)
当てくじ

浦舟東
むため
光るもの
ジュース

白妙1
くじびき
スピードガン

真金1
いそべ焼き
子ども用お菓子

高根東
ヨーヨー

真金2
かき氷

永楽
光るオモチャ
スーパースポーツ
かちわり氷

アイス
誰もお
大好き

ドンドン
太鼓の音
響きます。

以外と運動になるワ。
踊って 疲れるかも!?

盆踊り、
楽しいヨォ〜、
みえな〜、
踊りましょ

高根西
かき氷

高根西
推進委員

埋地
輪投げ

南吉田野球部
焼きそば

青指
串揚げ

昔ながらの
なつかしい味

狙うものは
ナニ?

鉄板で焼く
焼きそばは
格別の味

アツッ!アツッ!
揚げたてで
超ウマ〜!

永楽町内会……子ども会 (小島さん)
甲子園名物「かちわり氷」イチゴ・メロン・レモン等、色鮮やかな“かちわり氷”を用意しました。子どもたちからは「かわいい。おいしい」と大好評でした。

色とりどりのシロップは、どれも綺麗な色なので、選ぶのに迷ってしまったのではないのでしょうか?……………永楽町婦人部

浦舟町西部町内会は、盆踊り2日目に、おいなりさんを販売。300パックが20分足らずで完売し、「うちのおいなりさんを心待ちにしている高齢者の方が多いのよ。」と、高橋婦人部長の話を伺い、私(野村)も納得。なつかしい“おふくろの味”を思い出し、とても美味しかったです。

高根町西町内会…青年部 (佐藤さん)
毎回、昔ながらのかき氷にシロップかけ放題で参加しております。子ども達は好みの味を作ったり、大人には餡をつけたりと、暑さを吹き飛ばす盛況ぶりでした。

氷がフワフワしていて、“これが氷なの?”と思わせる、不思議な感覚のかき氷でした。……………山田

2日間の盆踊りは、滞り無く終わった。約100名もの実行委員、模擬店担当者、そして踊り手等、参加者同士の心と心が盆踊りの輪のように、“えん(円)→(縁)”

で繋がっていった。この真夏の思い出は、皆様の心の1ページに美しく残ることでしょう。

保健推進委員便り

高根町東町内会 宮本 春樹

今回は、毎月寿東部地区で行っているチューブ体操以外に、委員が参加している行事を紹介します。

8月24日、浦舟地域ケアプラザの納涼祭で、お三の宮地区と協力し合い健康チェックを行いました。108名の参加者のうち、約2割が若い方でした。

10月5日、南なんデーに出席、大岡健康プラザにて、雨天の肌寒い日、田中会長、木村みどり、私宮本の3名は午後の部の「肺活量測定」を担当しました。参加者の中には、緊張からか一気に息を吐く事が出来ない方も居ました。

更に11月、12月南区役所にて、2回にわたって各2名ずつで、ダンベル体操の講習会に出席しました。表和美講師のもと、重すぎないカラフルなダンベルで楽しく体験しました。



手作りダンベル

クローバーの会にご参加下さりありがとうございました

●食事後、たくさんの笑顔の花が咲きました。クローバーの会の10年間はいろいろな方々とお会いすることができ、ひとつの輪が生まれました。これからはこの輪を大事に育て広げていきたいと思ひます。

●クローバーの会を発足させてから10年間、食事会に来ていただいた方々から沢山の喜びをいただきました。一方私にとりまして反省と学びの機会をいただいた10年でもありました。感謝いたしております。ありがとうございました。皆様が恵み多い年を重ねることが出来ますようお祈りいたしております。

●クローバーの会を毎月楽しみに来ていただき、たくさんの笑顔と元気をありがとうございました。

●クローバーの会で一期一会の重さを教えてもらいました。楽しい10年をありがとうございます。



クローバーの会一同

編集後記

協議会の新体制発足に伴い、スタッフも新たな視点から編集作業に取り組みました。

折しも、寿東部地区の中心部に、福祉に十分配慮した新南区役所の姿が現れ始めました。地域にとって、今世紀最大の出来事をいち早くこの5号で紹介出来たことを幸運に感じています。

今後も福祉事業にたずさわる方々の活躍をお届けします。また、読者の楽しい体験記事、俳句等の投稿をお待ちしています。

次号から、8ページの紙面に復活いたします。内容は、更に充実するように目指します。 (浅野 正毅)

社会福祉協議会 寿東部地区事務局 木村雅一

〒232-0022 横浜市南区高根町 3-17 TEL.045-252-2668

「えん」編集委員 内藤 稔 清水 都 木村みどり 高橋ミチ子 岡崎加代子
浅野 正毅 山田 宏子 関口 武 樋口八千代 野村 良子